

3/7 (月) **新1年生の安全な通学に**

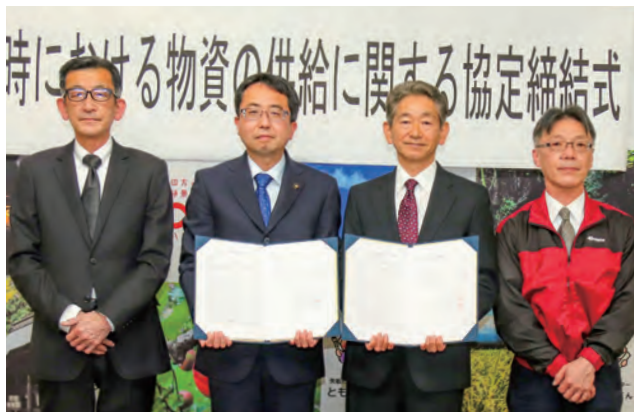
生涯学習館で、矢板地区交通安全協会からランドセルカバーの寄贈が行われました。これは、4月から小学校に入学する児童が安全に通学できるよう、同協会が毎年実施しているものです。市キャラクター「ともなりくん」が描かれた黄色の蛍光色のカバーのほか、家族と一緒に学べる交通安全教材などが市内の新入学児童 202 人に配付されます。渡邊会長からは「児童が通学時に巻き込まれる事故が増えている。カバーや教材を活用してもらい、毎日安全に通学して楽しく学校生活を送ってほしい」と話がありました。



▲(左から) 矢板地区交通安全協会 高塩副会長・渡邊会長、村上教育長

3/18 (金) **スーパーと災害時協力へ**

市役所で、総合スーパーの(株)ベイシアと市との「災害時における物資の供給に関する協定」締結式が行われました。この協定は、災害発生時に市の要請に基づき、食品・衣料品・日用品などの物資供給のほか、避難所などへの物資運搬にご協力いただける内容となっています。齋藤市長は「現在整備中で、防災拠点機能も有する文化スポーツ複合施設に隣接する同社矢板店との連携は心強い。有事の際に迅速かつ円滑に生活物資を確保し、市民の安全安心につなげていきたい」と話しました。



▲(左から) 横塚副市長、齋藤市長、(株)ベイシア 清水総務部長・武田矢板店長

3/24 (木) **ありがとう!! 豊田小**

豊田小学校で、全児童 43 人と保護者や地域住民など約 100 人が出席し、閉校式が行われました。147 年の歴史に幕を下ろす当校は、児童数の減少などにより 4 月から東小学校へ統合されました。式典では、碓氷校長と児童代表の小川さんから齋藤市長に校旗が返納された後、出席者全員で校歌を斉唱しました。児童を代表して挨拶した穴山さんは「たくさんの思い出ができた豊田小に感謝。昨日より今日、今日より明日へと未来に向かって進んでいきたい」と言葉を述べました。



4/2 (土) **持続可能な消防団を目指す**

矢板公民館で、市消防団辞令交付式が行われ、幹部団員 20 人が出席しました。式では齋藤市長から大貫団長に辞令が交付された後、団長から幹部団員への辞令交付と訓示が行われました。4 月から新入団員 7 人が加わり、本部分団および 5 分団 22 部、総勢 365 人の新体制となりました。大貫団長は訓示で「火災や災害など有事の際は、市・消防署・消防団が三位一体となり、和をもって取り組むことが重要。安全安心な地域づくりに貢献できるように、持続可能な組織の構築に取り組んでいく」と話されました。



▲齋藤市長から辞令を受ける大貫団長

4/2 (土) **笑顔満開! 桜とイベントのコラボレーション**

長峰公園で、花見と音楽やプロレスなどが同時に楽しめる「やいた桜フェスティバル」が開催されました。これは、市の活性化につなげようと市観光協会が桜の季節に合わせて初めて企画したものです。当日、桜は 3 分咲き程度でしたが、やいた応援大使「Lovin & S」によるライブステージや栃木プロレスによる手に汗握る試合が行われたほか、キッチンカーや飲食ブースが出店するなど園内は訪れた方たちの笑顔であふれました。遊びに来た子どもたちは「たくさんのイベントに参加できて楽しかった。来春も開催してほしい」と話していました。



学 **閉校まで最後の1年、最高の学校生活に向けて**

4 月 8 日 (金)、今年度で閉校する泉中学校で始業式が行われました。2 年生そして新入生もいない当校では、3 年生の生徒が、満開に咲く桜の前で新学期の始まりを記念して集合写真を撮影しました。また、4 月 12 日 (火) には、同じく今年度で閉校する川崎小学校で入学式が行われました。新入生 7 人は、在校生 74 人などに迎えられながら入場し、担任の先生から 1 人ひとりが名前を呼ばれると元気な声で返事をしていました。長い歴史を持つ両校にとって、閉校までの学校生活、最後の 1 年が始まりました。

